

どうする?

放流魚と多摩川らしさ Part2

昨年(4月13日)開催された**Part1**では、ニジマスの放流実験という緊急事態を受け、“放流魚”に関わる多種多様な課題に取り組むための第一歩として賛否を異にする立場の方々が集まって話し合う場を設定いたしました。

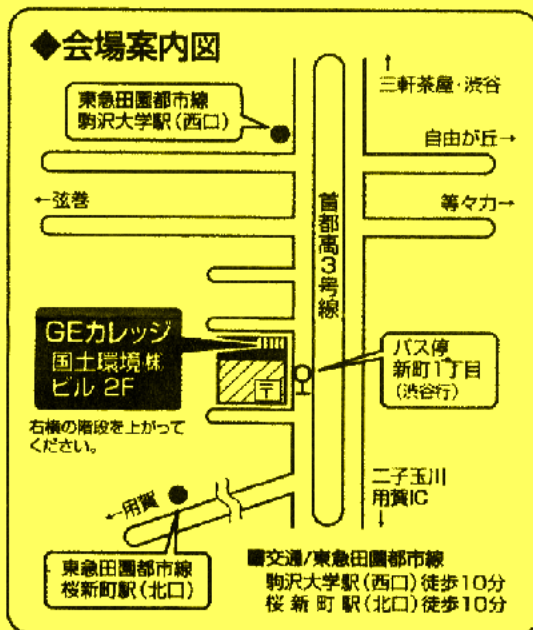
その結果、当初期待する成果として ①課題の整理と共通認識をえて将来の解決策を模索し ②関係者間の信頼関係を醸成し ③ガイドラインの作成などに向け協働する、などが確認され、**Part2**の開催について賛同が得られました。

この度、そのような経緯を踏まえて、下記の諸問題について、第5回シンポジウムを開催いたします。

□ プログラム

- 13:00 挨拶:高橋 裕(多摩川四ヶ領用水400年の会 会長)
- 13:05 基調報告:高野 正次(多摩川漁業協同組合長)
「多摩川の放流事業の現状」
- 13:25 プレゼンテーション(各30分)
「生態系によい川の形」…尾澤卓思(独立行政法人土木研究所 上席研究員)
「魚類資源の増殖と維持に関する制度」…桐生 透(山梨県水産技術センター 研究員)
- 14:25 休憩5分
- 14:30 パネル・ディスカッション(1時間20分)
議題1. 生態系保護と増殖・多摩川の課題は?
パネリスト
●高野正次(向上記) ●加藤憲司(東京都水産試験場大島分場主任研究員)
●丸山 隆(東京水産大学) ●勝呂尚之(神奈川県水産総合研究所 研究員)
●桐生 透(向上記) ●多田 実(ルポライター・多摩川市民フォーラム)
●立川賢一(東京大学海洋研究所)
- 15:50 休憩10分
- ★ 16:00 会場参加者を交えてフリーディスカッション(30分)
- 16:30 議題2. 市民と協働で実践する活動と体制づくりについて
(市民フォーラム提案・産卵床づくり・懇談会の発足など)
○コーディネーター:長谷川博之(多摩川市民フォーラム)
○総合司会:井田安弘(多摩川四ヶ領用水400年の会)
○企画立案:鷺見康子(多摩川四ヶ領用水400年の会)
- 17:00 終了

- **会場/GEカレッジホール**
世田谷区駒沢3-15-1 国土環境棟ビル2F
(右横階段を上がる)
交通/東急田園都市線・桜新町駅北口徒歩10分
- **入場&資料代……無料**
募集人数/先着申込100名様
- **申込方法……2月20日まで**
FAX:03-4544-7700
E-mail:GEC@notes.metrocean.co.jp
(多摩川四ヶ領用水400年の会 GEC 実行 担当/山崎)
- **問い合わせ/多摩川四ヶ領用水400年の会**
03-3707-4070



申し込み用紙(切り取らずにこのまま FAX:03-4544-7700)

第5回シンポジウム「どうする?放流魚と多摩川らしさ」Part2に参加します。H15.2.23

氏名 _____ (所 属) _____

住所 _____ 電話 _____ FAX _____